



協会だより

Japan Tourism Facilities Association

No.158



10月

発行／公益社団法人国際観光施設協会

総務委員会

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋

2-8-5 多幸ビル九段2階

TEL03-3263-4844

FAX03-3263-4845

E-mail : kankou01@syd.odn.ne.jp

URL : <http://www.kankou-fa.jp>

2026年10月1日

立石博已様を偲んで

国際観光施設協会 総務委員長 浅野 吉丸

8月3日立石博已様ご逝去の知らせを受けました。翌4日のお通夜には、ご家族をはじめ、国際観光施設協会やJIAの関係者など、多くの方々が参列されました。皆様が立石様との思い出を語り合い、そのご逝去を惜しむ温かな時間となりました。

立石様は、長年にわたり国際観光施設協会の活動に携わり、協会の発展を支えてこられました。

立石様は昭和26年に高島屋に入社され、商事部、国際部、装飾部などでインテリア事業に携わられました。海外大使館のプロジェクトなどにも関わられ、昭和58年には高島屋東京店装飾部長を務められました。その頃に国際観光施設協会に入会されたことが、その後の長きにわたる協会活動につながっていきました。

定年退職後は協会活動に本格的に取り組まれ、平成5年よりインテリア部会幹事、平成9年より総務委員を務められました。さらに平成15年から令和6年まで理事・常務理事を歴任され、令和7年の総会で退任されるまで、協会運営の中核を担ってこられました。

その間、インテリア分科会、事業部会、公益委員会など、数多くの活動に尽力されました。また、平成21年から令和4年まで「協会だより」12月号の活動報告を執筆され、協会の活動を記録し、会員の皆様に伝える役割も担われました。コロナ禍においても、

65周年・70周年記念事業の運営に積極的に参画され、協会の節目となる事業を支えてくださいました。

そして、立石様を語るうえで忘れられないのが、その温かく親しみやすいお人柄です。総会の余興では河竹黙阿弥作『三人吉三巴白浪』の「お嬢吉三」を披露され、その名調子は今も多くの方の記憶に残っています。また、会合ではいつもカメラを肩に掛け、カメラ倶楽部の鎌倉や京都への撮影旅行、HOTERES JAPANの協会ブースなどで熱心に写真を撮影されていました。大柄なお身体と印象的な眼差しを持ちながら、誰にでも気さくに声を掛けられ、いつも自然に人の輪の中におられたお姿が思い出されます。

92歳までお元気に活動させていただきに、そのご逝去はあまりにも突然で、誠に残念でなりません。

ご遺族のご意向により、11月12日に建築家会館にて「お別れの会」を開催する予定です。詳細につきましては、協会だよりの最終ページにご案内を記載させていただきましたのでご覧ください。

立石博已様が長年にわたり協会の発展のために尽くされたご功績と、私たちに残して下さった温かな思いを大切に受け継ぎ、これからの協会の活動につなげてまいりたいと思います。

ここに深い敬意と感謝を申し上げ、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

合掌

技術委員会の活動状況とこれからの予定

技術委員会 委員長 野出木 貴夫

今年度はフェーズフリー委員会が石原委員長のもと技術委員会に新たに加わり活動を本格化させようとしています。またいくつかの会が単独でなく互いに連携しながら活動の幅と奥行きを深めています。7つの分科会・委員会・研究会の活動とこれからの予定を限られた字数ですがここに紹介します。興味ある成果を期待したいと思います。

【ホテル都市分科会】

「木づかい活動」と「ロボットフレンドリー環境研究」を主軸に活動を続けています。「木づかい活動」ではセミナー1題と木づかい事例3件の見学会を開催しています。また能登ヒバサポーターの活動では「Noto Room@新宿」の企画も始まりそうです。一方で「ロボフレ研」ではロボット導入事例の見学会を3件企画し、実情を踏まえた知見が深まり手引書づくりに活かされると期待しています。

【旅館観光地分科会】

テクノロジー×宿泊・観光の「LINKED CITY」を推進しています。山形県朝日町では道の駅・コテージ・温泉施設に観光DXサイネージを実装し、10月にコテージが開業予定。北海道羅臼町・岐阜県下呂市・静岡県牧之原市へ横展開し、石川県観光連盟とは観光DXツール寄付で能登復興を支援しています。今年度よりフェーズフリー委員会と合同開催とし、GREEN×EXPO 2027 参画も進めます。

【観光交流空間のまちづくり研究会】

昨年度に山形県朝日町が当協会と包括連携協定を結んだことをきっかけに今年の冬に朝日町を訪問して、町役場の方やいくつかの地区の方に話を伺い、3月にはまちづくりについての提案を行いました。今年度も「三菱地所3×3ラボフューチャー」の皆さんと再度朝日町を訪ずれて現地確認を実施しています。さらに現在、朝日町以外の地域へのアクセスを検討しています。私たちができることを引き続き検討してまいります。

【エコ・小委員会】

国家戦略として示された循環型経済は資源の乏しい日本がとる道であり、地域にある宿泊施設「旅館」が持続可能であるための重要なキーワードでもある。エコ・小コンセプト&ガイドブックをミライ・リョカン技術編として4年ぶりに改訂し、資源循環型に関するヒートポンプ給湯、食品残渣のバイオマスエネルギー利用を記述した。また省エネ診断機関に登録し全国で省エネ診断を行いエコ・小の力試しをしている。

【インテリア分科会】

「デザイン温故知新」を主軸に、協会テーマ「日本を伝える」と重ねて日本の伝統技術を技術者の視点3で再解釈し現場調査を通じて担い手と設計者を結び未来のデザインへ生かすことを目指しています。今年度は日本が誇るべき伝統技術「有田焼」と来年度開催の園芸博にちなみ江戸時代から発達した「園芸文化」について調査をします。記録化とライブ配信をしていきます。

【耐震研究会】

ホテル・旅館の耐震改修の促進について研究を進めています。耐震化の助成金制度の調査のほか、SDGsへの取り組み、BCP(事業継続性計画)の推進のほか、地震災害後の迅速な復旧を目的とした、建物のセンシング・モニタリングの研究、ドローンを用いた建物調査の研究も行っております。2月の展示会では、今年度もホテルの耐震改修の事例を紹介する予定です。

【フェーズフリー委員会】

非常時と日常時をわけないフェーズフリーの考え方を観光施設に取り込む調査・研究に2020年から技術委員会メンバーで取り組んできましたが、今年度からフェーズフリー委員会を組織して取組むことになりました。会員企業の製品やサービスのフェーズフリー認証取得支援を中心に活動を進めています。9月25日には今年から始まったフェーズフリーMEETにおいてシンポジウムを開催しました。

インテリア部会 新情報発信グループ 第26回研究会 ホテル空間の演出を科学する ーシーン別設計と運営の仕掛けー

開催日時:2026年6月30日(火)

部会長 寺本 昌志

今回の研究会は、KOJAの小島衆太氏を講師に迎え、ホテルにおける「予約からチェックアウトまでのシーン」の空間演出についてお話を頂いた。一般的に、ホテルの評価は全体的な印象を語ることが多いが、小島氏は、その背後に無数の運営的な仕掛けが存在しており、そのサービスこそがホテルの評価軸の中心であり、その為の空間デザインは、スムーズなオペレーションができるよう、サービスに寄り添ったデザインを考えることが肝要である。これこそが、「ホテルコンセプトを理解したインテリアデザイン」ということになるというお話だった。ホテルに実際に宿泊してサービスを受け、空間で様々な体験をして肌で感じることは非常に大切であるということを、改めて再確認した研究会となった。今回の研究会は、案内を配布後、直ぐに60名を超える応募があり、会員の皆様に大変興味を持って頂いたと感じている。今回の盛況を、次回にも繋げていきたい。

ホテル都市分科会 木づかい系セミナーと見学会の開催

分科会長 野出木 貴夫

ホテル都市分科会では2024年度より「木づかい活動」の一環で木造・木質系のセミナー1題と見学会3件を開催しています。今年度は7月30日に東京大学名誉教授で(株)ホルツストラ1級建築士事務所の代表である稲山正弘先生をお招きし「木組みと流通材による中大規模木造建築の構造デザイン」をテーマにご講演いただきました。特殊な金物を極力使用せず一般流通材と住宅用プレカットを活用するデザイン力(構造×意匠の力)は大いに刺激となりました。会場は三菱地所設計のスタジオをお借りし23名の会員の参加を得て、講演後の懇親会も盛り上がり情報交換、交流を深めることができました。

見学会は、7月10日に大成建設グループ次世代技術研究所(T-FIELD/SATTE)を訪ねました。木造・木質化技術に留まらず、ゼロカーボンビルをめざす100を超える様々な技術が解りやすく展示されており充実した一日となりました。9月16日には竹中工務店の設計・施工による日本橋本町三井ビルディング&FORESTの見学会を開催しました。「日本橋に森をつくる」というコンセプトのもと企画されており、国内最大・最高層(地上18建て)の威容に圧倒されましたが、一方で多彩な木質化技術にも感心させられました。今年度最後の見学会は11月に清水建設の東京木工場を予定しています。近日中に開催案内が発信されます。どうぞご期待ください。

ホテル都市分科会 ロボットフレンドリー環境研究会の見学会

分科会長 野出木 貴夫

ロボットフレンドリー環境研究会は昨年度に発足し、ホテル・旅館など宿泊施設でのロボット導入推進に向け研究を進めています。

今年度は研究の一環として、日本ホテル株式会社様よりご紹介をいただき、「ホテルメトロポリタンエドモント」(7月7日開催)と「メズム東京」(7月8日開催)のサービスロボットを見学させていただきました。前者はビュッフェレストランにおける下膳とお皿の供給をする搬送ロボットと、宴会場ホワイエの清掃ロボットを視察しました。後者は265室の客室リネン類の搬出入口ロボットの稼働状況を見学致しました。見学会を通じて思わぬ気づきと水平展開も可能な工夫を発見することができました。見学報告はそれぞれ「観光施設／紅葉号」に掲載予定ですので、是非ご覧ください。

7月13日には株式会社タップ様の運営する「タップホスピタリティーラボ沖縄」(実証実験施設)を訪ね、ホテル運営に関わる各種サービスロボットの稼働状況を視察し、同社のホスピタリティー工学研究所の皆様との意見交換も行いました。なお、視察の状況は初の試みとして研究会員に向けライブ配信しました。また翌14日には、同社支援のもと宿泊客の荷物搬送と宿泊棟への無人案内を兼ねたポーターロボットを試験導入されている「ユインチホテル南条」を訪ねました。分棟形式の多いリゾートホテルの荷物搬送とお部屋へのご案内を担うこの種のロボットは今後さらに発展していく可能性を強く感じました。

研究会は導入事例見学会の開催だけでなく、発展著しいロボット業界の最新情報を得るため、特に宿泊施設向けのロボットを手掛ける企業に声掛けし、プレゼンしていただく企画も進めています。ご興味のある方は是非研究会にご参加ください。

インテリア部会 注目施設見学会グループ 「温故創新の森」NOVARE 見学会報告

リーダ 長尾 俊夫

清水建設のイノベーションと人材育成の拠点となる施設のうちアカデミーと歴史資料館を見学しました。アカデミー塾長よりものづくりの理念「三現主義」の講話を伺った上で、生きた教材現場モックアップを体感しました。一つひとつが現物、現実、現場の原点の大切さを見て触れて学ぶものでした。転じて資料館清水文庫では江戸末期からの初代清水喜助にまつわる貴重な資料の展示に始まり、洋風近代建築の黎明期のエポック業績に触れ、さらに緻密に当時の設計をもとにした白模型が並び立つアーカイブに新たな驚きを抱きました。

設備部会

「朝日工業社 技術研究所」見学会

部会長 藤野 健治

8月5日、参加者14名で朝日工業社技術研究所の見学会を開催しました。同研究所は、空を望める天井や自然の風合いを取り入れた壁面など、研究施設でありながら「秘密基地」のような魅力的な空間づくりを目指しています。また、建物自体を脱炭素技術の実験装置として活用し、省エネルギー性能や快適性の検証を実施しています。建築構造・機械設備・自然エネルギーを融合し、太陽光や自然採光、自然換気を積極的に活用することで空調負荷を低減し、高い省エネルギー性能の実現に取り組んでいます。当日は概要説明を受けた後、実験施設を含む館内を見学しました。見学会後には懇親会を開催し、技術情報の交換を行うとともに参加者同士の交流を深めました。

建築部会

フェアモント東京 見学会報告

部会長 崎山 茂

8月6日、7日に昨年芝浦にオープンしたフェアモント東京の見学会を行ないました。アコールグループの最上位グレードであり、他の客への影響を考慮し10人グループで2日に分けて開催しました。これまでも建築部会ではランチなどを併せて体験する形でホテル見学会を開催していますが、ここのコストパフォーマンスは特筆すべきものでした。それはレストラン、客室、テラスの全てから東京湾を望む眺望の良さと、都心の高層ビル群から少し離れた解放感が圧倒的だからです。詳細は「観光施設」で報告しますが、この眺望は実際にその場に立たないと解りません。是非ランチかハイティーに行ってみることをお勧めします。

ホテルズ実行委員会

第55回 国際ホテル・レストランショー お知らせ

委員長 末森 憲義

2027年3月16日(火)～19日(金)の4日間、東京ビックサイト東展示棟にて「第55回 国際ホテル・レストランショー」が開かれます。当協会は、ブース出展とホスピタリティデザインセミナーを主催し、5万人以上が訪れるこのイベントを通じて協会活動の成果を発信します。今年はホテルズ展の最終日がGREEN x EXPO 2027の開幕日となっており、開幕直前の機会を活かして機運の醸成をお手伝いしたいと考えています。詳細は検討中ですが、EXPOに出展される当協会の会員企業の皆さんに協力をあおぎ、ホテルズ展を見に来て頂いた方がEXPOに足を運びたくなるような、高揚感を生み出す展示およびセミナーにしたいと意気込んでおります。

ブース展示の会場にはセンタープラザを設置します。出展参加企業のPRが可能なショートセミナー

の枠を用意しますので、是非ご活用下さい。また、今年もサロンを開催します。ワインと軽食を楽しんで頂き、会員の皆様の情報交換の場として大いに利用をお願いします。これから皆様のもとに「協会ブースへの参加申し込みのお願い」(参加申込書)が届きます。

参加形式の以下の3種類です。

- ① テーマ展示 (ブース展示+ショートセミナー)
- ② ポスター (ポスター展示+ショートセミナー)
- ③ 社名参加 (ゲートに企業ロゴ展示)

ホテルズ展は皆様の参加に支えられて活動しております。会員企業の皆様には参加によるご支援をお願いするとともに、会場でお会いできることを心より楽しみにお待ちしております。まずは参加の申し込み、何卒よろしくお願い申し上げます！

昨年のセミナー及び展示をご覧ください

<https://hcj.jma.or.jp/seminar/>

ID : 32634844

PW : kankou2026



「Noto room」を訪れる隈研吾氏

事業委員会

年末セミナー&忘年交歓会のお知らせ

慶応義塾大学名誉教授 富田勝先生 登壇決定!!

副委員長 佐藤 岳利

年末セミナー

12月10日(木)16:00から開催します。今年は、慶応義塾大学名誉教授、鶴岡サイエンスパーク代表の富田勝先生をお招きして「AI時代を拓く「脱・優等生」のススメ」と題してご講演頂きます。AI全盛の世の中で、私たち人間は、これから何を目標にすべきなのでしょうか。地方・鶴岡で25年間、研究、教育、産業づくりに挑戦されてきたご経験をもとに、これからの人、企業、地域、そして日本についてお話し頂きます。乞うご期待!!

忘年交歓会

今年も大災害を含め、色々なことが有りましたが、今年の「歳忘れ」も、華やかで楽しい忘年交歓会を企画しています。空くじ無しの“福引大会”で盛り上げます。乞うご期待!!

会員の皆様には、景品のご寄付をお願いする次第です!! 景品も宜しくお願い致します!!

交流委員会 HOP 会

第121回 国際観光施設協会ゴルフ会の予告

会長代行 杉浦 司

国際観光施設協会の秋のゴルフコンペを下記のとおり開催致します。

日 時：令和8年11月26日（木）

コース：茨城ゴルフ倶楽部

プレイ費：23,750 円程度（キャディ付、食事別途）

各自精算

会 費：5,000 円（パーティー費含む）

コンペ終了後は表彰式と懇親会、賞品も多数用意しております。会員の皆様の親睦の場として、お誘いあわせのうえ、多くの参加をお待ちしております。

編集後記

立石博巳さんのお通夜に参列し、お別れのご挨拶をさせていただきました。

にこやかで力強く、集いの輪の中心にいらっしゃったお姿、いくつもの思い出のシーンが鮮明に浮かびます。最後にお話しさせていただいたのは、令和5年の総会の帰り道、帰路が同じだったのでタクシーで立石さんをご自宅までお送りしました。

ほんの数十分の道のりでの会話で、お仕事の話、ご家族の話、戦争体験の話、「こんなこと初めて話すよね。」と仰られ、あれこれと教えていただきました。ご自宅で奥様にもご挨拶できました。その時が最後になるとは思ってなかったので、なんでもなく挨拶して失礼した時間でした。

高島屋の大先輩とのご縁は協会活動を通じて知りご冥福をお祈りいたします。

平野智子

立石博巳様お別れ会 お知らせ

11月12日に建築家会館にて「お別れの会」を開催いたします。詳細・参加申し込みについては、こちらをご覧ください。

下記 Peatix URL からチケットをお申し込みください。

<https://owakarenokai1112.peatix.com>

